様式第 4 号（第 6 条関係）

議 事 概 要

審議会等の名称	令和 2 年度 第 2 回 土浦市図書館協議会
公開・非公開の別	公開
開催日時	令和 3 年 3 月 19 日（金）午後 1 時 30 分から
開催場所	土浦市立図書館 研修室 3・4
出席者	委員 10 名，事務局 5 名
議 題	<p>(1) 第 2 次土浦市子ども読書活動推進計画の令和 2 年度進捗状況について</p> <p>(2) 第 3 次土浦市子ども読書活動推進計画の策定について</p> <p>(3) その他</p>
議 事 結 果	<p>(1) 第 2 次土浦市子ども読書活動推進計画の令和 2 年度進捗状況について，事務局より説明</p> <p>・中高生のボランティアの育成・活用と市内高校との連携については，市内の高校全体に申し入れをして結果 3 校となったのか。どのような方法で呼びかけをしてこのようになったか。 ⇒今年度はコロナの影響もあり，例年行っているポスターやチラシでの積極的な周知ができなかったため，以前から協力をいただいている高校，また市内高校へアンケートを実施した結果などで高校とボランティア協力や連携をさせていただきました。</p> <p>・壁面装飾はどこに，どんな風にあるのでしょうか。 ⇒2 階児童書スペースの「おはなしのへや」手前のキッズコーナーに大きな壁面があり，そこへ子どもたちが喜ぶような装飾をしています。</p> <p>・市内高校との連携の内容にあるおすすめ図書の対象者は誰になりますか。高校生も対象に入っていますか。また，おすすめ</p>

本はどのように紹介していますか。

⇒高校生も対象者となっています。

おすすめ本については、同年代の子どもたちが感動した本、面白かった本の紹介文を書いてもらい、図書館内のロフトの壁面や Teen の本棚に各学校のコーナーを設けて紹介しています。

・おはなし会について、今年度は「おはなしのへや」でのおはなし会は中止が多かったと思いますが、キッズコーナーにおいて比較的開放された空間を利用して開催した状況はどのよう、今後どのようにおはなし会を実施していくのでしょうか。

⇒「おはなしのへや」での開催は、扉を開放していても不安を感じる方がいることを考慮し、3階まで吹き抜けとなっているキッズコーナーを利用して開催しました。今後も、国や県の要請などを考慮しながら、なるべく短時間で実施をしていきたいと考えております。

・今後、コロナの状況が変化しなかった場合、一部の人からは、外の階段を利用したり、季節もよくなってくるので換気の良い所でおはなし会を実施できないかという話が出ている。親の読み聞かせが一番かもしれませんが、違う読み手の違うお話というのも、子どもにとっては刺激になると思うので、おはなし会を再開する方向で検討をしていただきたい。

⇒今後はコロナだから中止というのではなく、コロナだからこのように実施していくという方策を考えて進めていきたいと思えます。

しかしながら、ボランティアの方にご協力をいただいて実施していることもあり、団体により多少意見が異なっておりますので、4月以降の再開に向けては、各団体の意向を伺いながら進めていきたいと考えております。

また、「おはなしのへや」だけではなく、屋上ガーデン等での屋外開催も含め、よりよい実施の方法を考えていきたいと思えます。

(2) 第3次土浦市子ども読書活動推進計画の策定について、
事務局より説明

・「子どもの本」フロアに読書コンシェルジュという意見について。

聞いた話では本の並び方が図書館によって微妙に違っており、子どもが一人で調べ学習関連等の必要な本を探ることができず、またスタッフに聞けばいいということも分からないため、その点を少し考えてもらいたいと思います。

⇒調べ学習の本は児童カウンターのスタッフから見えない所にあり、子どもが本を探している時に気付いてあげられていないと感じましたが、読書コンシェルジュをすぐに配置することは難しいと考えております。

館内における表示や掲示物を工夫し、また児童カウンターのスタッフに声を掛けやすい体制を検討していきたいと思えます。

・図書館の環境整備について。

公共施設に入る際は検温し、手指消毒をしています。入館時に手指消毒をすればそれでいいのかというと、図書館利用者は閲覧する際にいろんな本を手取るため、人が持った本がどうかということがあり、そういう部分をかなりデリケートに対応すれば、利用者の方もさらに安心していただけると思います。

⇒図書館（土浦アルカス内）の入口では、サーマルカメラと手指消毒アルコールを設置しております。

本の除菌については、当館では2階の入口付近と、子どものコーナーに1台ずつ本の除菌機を設置しており、利用者の方に使用いただけるようにしております。

利用者が書架で手に取って戻した本については、利用者が手指消毒をしている、手洗いをしているという前提での運営になっております。

運営側として、できる範囲のことは利用者の方に安心していただけるよう引き続き実施していきたいと思えます。

・保護者の学習機会を活用した啓発について。

この項目の内容に「家庭教育学級」という文言がありますが、特にメディア環境の変化が大きいため、もう少しメディア環境全体を見ながら、大人も含めて皆で子どもたちにどういう本を提供していくのか、どういう読書環境を作っていくのかという子ども読書の問題を考えていくというような文言が入ると良かったのではないかと感じました。

この計画については策定済ですので、今の内容については実施の段階で、ご検討いただきたいと思います。

⇒今後の本計画の取組をしていく中で、検討していきたいと思えます。

・幼少期の読み聞かせについて。

子どもが言葉を吸収していく時は、一人でテレビを見ている場合と比べ、親と一緒にテレビを見て、耳元で一緒に歌を口ずさんだりの方が格段に言葉を覚えるので、直接的な語り掛けには強い力があると実感しました。

そういう経験からすると、重要視される幼児期の読み聞かせは、すごく大きな影響力があると思えます。

このコロナ禍で読み聞かせの機会が減少していることはすごく残念ですが、図書館でも何らかの形で小さいお子さんに直接語り掛ける機会をなるべく提供いただき、併せてそのアピールもしていただけると良いと思えます。

・「様々なメディア等を活用した情報提供」について。

利用促進の広報という点においては、特に小さいお子さんを持つ30代から40代の方に対するSNS等での情報発信の取組は有効ではないかと思えます。土浦市でもSNSを活用した取組をされているようですが、その辺の状況や反応について聞かせてもらいたい。

⇒市のいろいろな情報発信は、市のホームページを始めツイッター等でお知らせしております。図書館でのイベント等については、市の公式ツイッターを各課で共用し、お知らせし

	<p>ております。フェイスブックも同様です。また、市長からは積極的に発信するよう指示を受けております。</p> <p>その反応については、今年度は、ほとんどのイベントが中止となったことから、きちんと把握できておりませんが、図書館を含め市全体のSNS等を始めとした情報発信は強化されていると感じております。</p> <p>(3) その他 新型コロナウイルスに関する対応状況報告について、事務局より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での図書館再開について。 <p>本館の再開時期と、分館の再開時期が違ったことについて、本来は設置条例上、図書館と公民館は違う施設ですので、扱いが区別されてしかるべきだと考えております。なかなかそうはいかない施設管理上の理由があるとは思いますが、その点は少し配慮をしていただけないかと考えております。また、そういう意見があったことを他にも伝えていただきたいと思っております。</p> <p>⇒理由としては、公民館の一室に分館があるということで、公民館を閉めると分館も閉めざるを得ない状況です。</p> <p>物理的には公民館内の分館を開館することは可能ですが、一般市民の方からすれば分館を開けられるのに、なぜ公民館を閉めるのかというところで、なかなかご納得いただける理由がないというところが市としての考え方となっております。また、協議会より、ご意見をいただいたことは上司の方へ報告いたします。</p>
<p>審議会等の事務局</p>	<p>土浦市立図書館 管理係</p> <p>電話 029-822-3025</p> <p>FAX 029-822-3316</p>